

「Do you know 能？」第十一弾

～ガイドなら一度は観ておきたい能楽～

2024年2月17日（土）実施 JGA 第一支部研修 終了レポート

2月17日（土）9:45～15:15、国立能楽堂において表題研修が実施されました。

独立行政法人日本芸術文化振興会 国立能楽堂様のご協力で、毎回プロの能楽師を講師にお迎えし、レクチャーと能舞台体験、さらに能楽舞台鑑賞と、一日かけて能楽を堪能する研修も、今回で十一回目となりました。

千葉県、神奈川県、埼玉県、東京都、長野県から参加者 19名（正会員 15名、非会員 3名、委員 1名）。

今回の講師は狂言方大蔵流能楽師の山本則重師です。能楽の歴史、能・狂言・囃子方の流派、舞台構成、逸話、本日の舞台鑑賞の番組解説など、ガイディングに役立ちそうなお話を軽快にして下さり、参加者から時に笑いやため息が漏れました。参加者から「本当に楽しい」「こんなに面白いとは思わなかった」との感想を頂きました。能舞台体験では、構えや摺り足に続き、狂言の笑い方・泣き方を全員で練習。狂言の型の持つ「力」を実感したひと時でした。



その後希望者は館内の食堂で昼食を共にし、意見や情報を交換。

最後の舞台鑑賞は、解説（国文学研究資料館名誉教授 小林健二氏による「絵画と能・狂言・特集 英一蝶没後 300年」にまつわるお話）に続き、狂言「柿山伏」（大蔵流）と能「蟻通し」（喜多流）。レクチャーで受けた説明が、鑑賞と理解に役立ちました。

終了後は近くのカフェで交流会（希望者 8名参加）。仕事の情報や最近の話題などに花が咲きました。

一日かけて能楽に親しむ JGA の能楽研修。今回は能楽に降れるのが初めての方も、リピーターの方もいらっしゃいましたが、皆様「勉強になった」「面白かった」「楽しかった」と、満足されたご様子でした。

